みんなの広場

ところざわの文化財 歴史再発見 ❶

旧石器時代と砂川遺跡

このコーナーでは、所沢の原始時代から現代に至るまでの歴史をたどりながら、その時代に関連する文化財を紹介していきます。第１回目は旧石器時代と砂川遺跡です。

旧石器時代は、縄文土器が出現する以前の時代で、気候は今よりもずっと寒く、また活発な火山活動により火山灰が常に降り注ぐなど、厳しい自然環境のもと、人々は動物を追って移動する狩りと採集の生活を送っていたといわれています。

市内には今から約１万３千年～３万年前の旧石器時代の遺跡が20数か所確認されていますが、三ヶ島にある砂川遺跡は、所沢市で最初に発見された旧石器時代の遺跡です。

この遺跡の調査では、石器類は破片に至るまですべて出土した地点を記録するとともに、それらをつなぎあわせるという作業が初めて試みられました。その結果、つなぎあわされた石の状態からナイフ形石器等の製作工程が明らかになるとともに、当時の人々が常に石を携えて移動する生活を送っていたことが実証されました。

このことは出土した石器類が、一括して国の重要文化財に指定されたことからもわかるように、日本の旧石器時代研究の大きな成果となりました。

砂川遺跡

遺跡の土地の一部は所有者の方のご好意で、市に寄付されました。近年では福寿草の咲くスポットとしても知られています。市では歴史的な意義を伝えるとともに自然環境をいかした憩いの場として整備する予定です。

街の写真館

▶青空をキャンバスに力強く咲く「しだれ桜」。訪れる人々からもその華麗な姿に感嘆の声があがります。（撮影／市民カメラマン・西山元博）
３月31日㈮／金仙寺（三ヶ島）

◀日本の伝統的な衣装である着付けの体験をしました。外国籍の市民の皆さんと楽しいひとときを過ごした「国際交流フォーラム」
３月18日㈯／市役所１階・市民ホール

▲桜舞う春の風をうまくつかんで、大空へ！「市民文化フェア／パラグライダー体験・展示」（撮影／市民カメラマン・西山元博）
４月８日㈯／所沢航空記念公園

一口メモ 防犯メモ

～犯罪のない街をつくろう～

子ども：新聞やテレビで、いろいろな事件が報道されているけど、この辺りでも犯罪は起きているの？

お父さん：そうだね、空き巣に入られたとか、自転車を盗まれたなどという話を耳にする機会が増えたね。

子ども：そうか、犯罪は僕の近くでも起こるかもしれないね！どうしたら防げるのかな？

お父さん：まず、犯罪が起こらないように『スキ』をなくすことが、大切だね。

犯罪者から見て、『スキ』があると思われる地域
- ◆ごみ出しのルールが守られていない地域
- ◆落書きの多い地域
- ◆放置自転車のある地域

子ども：あっ、そうか！お父さん、今度一緒に近所の安全をチェックして回ろうよ。

お父さん：犯罪にあわないように、地域のみんなで、身の周りの環境をよくすることが大事だね。

問い合わせ　防犯対策室（☎2998-9090・FAX2996-0015）

はつらつ野老（ところ）っ子

花とみどりがあふれるまちに

関口　八重子さん（下新井在住）

新緑の季節を迎えました。

若葉がいきいきと輝く雑木林からは、さわやかな風が薫り、咲き誇る草花に人々は感動し、こころを癒（いや）されます。

今回は、小・中学校の花壇や学校の学習林（雑木林）の整備を続けているボランティアグループ「みどりの会」のリーダー、関口八重子さんを紹介します。

関口さんが、平成11年に若松小学校のＰＴＡ会長を務めていたとき、学校の学習林の立ち木が高く生長し、冬場の日ざしをさえぎるなどの支障が生じていました。

航空記念公園のふれあい花壇づくり

このため、近隣の小・中学校のＰＴＡにも呼びかけ、林の一部を剪定（せんてい）したり、下草刈りなどの手入れを行い、子どもたちが安心して活動できる林として、また武蔵野の雑木林として再生させました。

これがきっかけで「みどりの会」は生まれたのです。

「雑木林の中で元気に遊ぶ子どもたちの笑顔を見て、この活動を始めて本当によかったと感じます」と、うれしそうに話す関口さん。

やがては、広い地域でみどりの環境を考えていこうと、夢はふくらみます。子どもたちと一緒に学校花壇の植え付けをしたり、学校の畑を耕したりするようになり、東川の清掃活動にも参加するようになりました。昨年は、新潟県旧山古志村の小・中学校へ義援金を送るなど、みどりの会の活動は多岐に渡ります。

「草花を大切にすることや地域の環境を整えることで、子どもたちの思いやりと福祉の心が育ちます」と語ります。気の合った仲間と気持ちよい汗を流すことも、関口さんの生きがいのようです。

皆さんは、所沢航空記念公園のふれあい花壇をご覧になりましたか？「みどりの会」の皆さんと子どもたちが一緒に植え付けした草花は、花壇からあふれんばかりに咲き、公園を訪れる大勢の方々の目を楽しませています。

これからの季節、学校にまちに、関口さんたちの植えたおもいやりの草花が、ますます輝いていくことでしょう。

レッツボランティア

【ボランティアセンター】
～ボランティア活動を応援します～

最近では、市民の皆さんの間でさまざまなボランティア活動が積極的に行われています。ボランティアセンターでは、皆さんが気持ちよくボランティア活動ができるように、お手伝いをしています。

このコーナーでは、地域で活動しているボランティアグループの具体的な取り組みなどをご紹介していきます。

第１回目は、同センターの活動をご紹介します。

●ボランティアに関する相談・情報提供

ボランティア活動を希望する人や、ボランティアを頼みたい人のいろいろな相談に応じています。また、ボランティア情報紙『ぷろぺら』やホームページ（アドレスhttp://www.ciao-tokorozawa.or.jp）でボランティア活動に関する情報を発信しています。

●各種ボランティア講座の開催

夏休みの期間、高校生や大学生が保育園や児童館、高齢者施設などでボランティア体験できる「彩の国ボランティア体験プログラム事業」などを開催しています。

●助成金・ボランティア保険

発足まもないグループに対する組織運営費と会食会や茶話会、交流事業などの活動費に対し、赤い羽根共同募金の配分金を活用して助成（サークル活動などは除く）しています。また、ボランティア活動保険の加入手続きを行っています。

彩の国ボランティア体験プログラム事業報告会

問い合わせ　所沢市社会福祉協議会（☎2925-0041・FAX2925-0040）

誰でもエッセイ

テーマ　勇気

特効薬

上安松・藤原　依美

小さな事ですぐクヨクヨしてしまう超マイナス思考な私は、仕事でも壁にぶつかりがちです。そして「明日、会社に行くのが嫌だな」と落ち込んでしまいます。

そんなときは、家族の姿が私を勇気づけてくれる特効薬となります。「漢字テストで１００点取れたよ」とか「クラスで一番最初に版画ができ上がったんだ」など、子どもたちの頑張っている話を聞くとなぐさめられます。

そして朝早くから夜遅くまで、まさに企業戦士となって働いている主人の姿を思うと、私も弱音を吐かず、明日はもう少しだけ頑張ってみようかなと思いなおします。

こんなふうに家族に勇気と元気をもらっている日々です。

小さな勇気

北岩岡・大野　喜久子

友達とのおしゃべりならともかく、大勢の人の前では、苦手という人がいる。私もそんな中の一人ではあるが、重ねる年齢と共にそれではすまされなくなってきた。好奇心旺盛な性分も災いしてか、なにかといろいろな役がまわってくる。

ある会の記念式典で司会を初めておおせつかったときのこと。時間は、刻一刻と迫り心臓の音が聞こえそうな緊張感の中で、下手でもいいからとにかくやってみよう。握りしめたマイクが震えていた。

「よかったよ」終了後の先輩の声に我に返り、ふと肩の力がぬけた。そんな経験を幾度となく繰り返し、最近は人前に出て話すことにも少し慣れてきた。

ほんの小さな勇気と本気で取り組む姿勢があれば、苦手なこともやがて克服できるようになる。そこから道が開けてくるのかもしれない。

楽しい89歳

三ヶ島・杉村　キミ子

６年前、群馬県から息子が住む近くのケアハウスへ入所しました。周りには誰ひとり知り合いのいない私を心配して、息子の嫁が、ちぎり絵の講習会に連れて行ってくれました。

先生をはじめお仲間の方たちが親切にしてくださいますので、現在まで続けています。ちぎり絵に力を得た私は、老いに負けないように少しでも外に出ようと決心しました。

広報などを頼りにいろいろな行事に参加するように努力しています。知らない場所、知らない人の中に混じって行動することは、相当な勇気を必要としましたが、皆さんに親切にしていただき、楽しい89歳の日々を過ごしています。

歌声からの勇気

東狭山ヶ丘・町田　千恵子

勇気には、能動的なものと受動的なものがあるように思います。私には今、その後者について思い出すことがあります。

それは終戦直後のこと。食糧難のために私たちは、いつも空腹に耐えた生活をしていました。住宅事情も悪く狭い家に大勢の家族が住み、物質的にも経済的にも大変困窮していた時代のことです。

先ごろ急逝された童謡歌手の川田正子さんの歌声が、毎日ラジオから流れていたのです。特に「どんがり帽子」の歌は、連続放送劇の主題歌として覚えやすかったこともあり、通学の道すがらいつも口ずさんでいたものです。

とっても元気が出てきて、彼女の歌声からどれ程の勇気をいただいたことか。遠い昔の思い出です。

次回のテーマは「友だち」です

▶「誰でもエッセイ」ではテーマにそった投稿を募集▶はがきに300字以内で▶文章は添削あり▶掲載者には記念品を進呈▶次回のテーマは「友だち」▶締め切りは５月８日㈪必着▶住所・氏名・年齢・電話番号を明記▶送り先：〒359-8501・並木1-1-1　所沢市役所秘書広報課「みんなの広場」係◎Ｅメール（アドレスa9024@city.tokorozawa.saitama.jp）も可。